

飯南

いいなん

- 平成21年度 一般会計補正予算
- 一般質問
- 常任委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

飯南町議会 鳥根県飯石郡飯南町下赤名890番地
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第19号

平成21年11月20日



繁栄の「しこ」を踏んで

神在月には、実りへの感謝の営みが各所で行われ、国道54号沿いに「野見宿禰」の大きな絵看板が映える上赤名会館では女亀山収穫祭が賑やかに開催されていました。出雲風土記ではこの地一帯が「野見野」と記され、出雲神話で活躍し、日本相撲の元祖である野見宿禰の所領であったといわれています。全国の神々が出雲に帰られてた10月には、野見宿禰もこの町に揺るがぬ幸せが根付くように四股(しこ)を踏みに帰って来られていたようです。

9月定例会

9月定例会は、9月8日から9月19日までの12日間の日程で開かれました。

提案された主な議案

いずれも審議の結果、全議案について原案どおり可決しました。

認定

平成二十年度飯南町各会計歳入歳出決算認定について

条例関係

飯南町職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例他

予算

平成二十一年度飯南町一般会計補正予算（特別会計補正予算）

その他

飯南町過疎地域自立促進計画の変更について他

議員発議

「地方財政の安定的運営に関する意見書」の提出について

政府と国会に意見書を提出

地方財政の安定的運営に関し、政府と国会に対して意見書を提出しました。

地方財政に関する仕組みをはじめ、国の主要政策の転換により予算編成スケジュールが遅れることになれば、地方も当初予算の編成作業や執行に大きな影響が生ずる懸念がある。

21年度補正予算は一部執行停止が議論されているが、地方向けの予算が執行停止されれば、景気・雇用・福祉・教育など住民生活に多大な影響を与えるだけでなく、国と地方の信頼関係が損なわれる。

国の平成22年度当初予算編成にあたり、地方公共団体の予算編成及び執行に影響を及ぼさないよう、年内編成・年度内成立を行うとともに、地方財源及び地方向け歳出の枠組みを早期に示すこと。

地方交付税及び一括交付金等、地方財源を確保するとともに、地方交付税の財源調整・保障機能を堅持すること。

21年度補正予算は地方向け基金・交付金等について、地方公共団体の混乱を招くことのないよう、予算の組み替えや執行停止を行わないこと。

今回の補正予算には経済危機対策臨時交付金が含まれています。

平成21年度経済危機対策臨時交付金充当事業内訳

(単位：万円)

事業区分	詳細	金額
地球温暖化対策	赤名保育所太陽光発電施設整備	1,458
	加田の湯 地中熱水冷式ヒートポンプ設置	2,712
少子高齢化社会への対応	高齢者福祉センター修繕(空調機器・漏水)	3,076
	肺球菌、新型インフルエンザ予防接種補助	1,431
	マイクロバス1台、ワゴン車1台	1,172
安全安心の実現	農道整備費	1,700
	住宅リフォーム助成(上限10万円×100件)	1,000
	病院医師確保対策事業	1,426
	医療機器整備	1,393
	赤来中学校耐震補強設計事業	1,702
産業の活性化	旧谷小学校加工施設等備品整備	785
	マイクロバス購入、施設整備	1,283
	ブルーベリー園拡充整備	643
	マイクロバス購入、施設整備(やまなみ、琴引山荘)	1,390
	森林セラピー送迎自動車購入	620
	プレミアム商品券発行補助	1,105
	空き家活用対策費	669
	国道54号活性化計画の策定	300
	ぶなの里、赤来農産物直売所改修整備	1,460
	頓原ライスセンター乾燥施設・色選機械整備助成	8,000
	椎茸生産施設整備	11,179
	子牛価格補填	100
	子牛飼育支援	620
その他	職員用パソコン更新(24台)	503
	財務会計システム更新負担金	822
	公用車整備(乗用車1台)	269
	酒づくり交流館(調理場、屋根等修繕)	178
	住民提案事業追加	130
合計		47,126

平成21年度 一般会計補正予算は 経済危機対策など

10億8,596万円増額

各会計	補正予算	予算総額
一般会計	108,596万円	788,709万円
特別会計	国民健康保険事業	80,871万円
	老人保健事業	1,874万円
	後期高齢者医療事業	15,860万円
	簡易水道事業	31,716万円
	下水道事業	55,152万円
病院事業	86,946万円	328万円

おことわり

今回の補正予算では、国の補正予算凍結により全てこのとおり執行されるとは限りません。

お詫びと訂正

5ページ三段目23行中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。「2億2000万円」とあるのは「3億2000万円」です。

Q 町長としての基本姿勢は

A 町民の幸せを願って執行

石原 敏郎 議員

町を統括し代表するといふ非常に強い権限を持つている町長の姿勢は、町政にすぐに反映されます。そこで、「町長一人・町の基本理念・町長と議会」の三点に関する基本姿勢を問います。

町長は、政治家としてまた行政の長として自らの旗印を示し、言葉だけではなく実行すべきでは。

私は生命の源は海だと学校で習いました。「当町は生命の源である」と町長は言うが、行き過ぎたキヤツチコビーと考えます。町の基本理念に関することだけに、町長の基本姿勢として危惧を感じるが、見解は。

全国町村議会議長会がまとめた「議会活性化方策」をどう評価し、また町長として議会活性化に対し積極的に協力する意欲は。



山崎 英樹 町長

就任以来、日々町民の幸せを願って行政を執行しています。決して独りよがりになることなく、おごることなく、耳を傾け意見を求め、町長職に努めます。

町民みんなで作った総合振興計画において町づくりの指針としており、町民の共通認識だと思っております。

議長の提言内容に同感で敬意を表します。

飯南町議会で審議し方向づけされたことは尊重し、共に住民福祉の向上に努めます。

Q サプロ島根の今後は

A 計画変更を受け対処

石原 議員

サブロ島根に関し、町内の皆が心配しています。そこで次の4点について納得のいく説明を求めます。

サブロ島根の3000万円の資金手当に、町民は非常に心配しています。

町長は経営状況を十分に把握しているのか、また議会や町民に対する報告は。

町は誘致企業として優遇措置を講じたが、サブロ島根は協定を履行しておらず、誘致企業の指定を取り消すべきです。また、旧赤来町時代の「企業誘致条例」は。

今後の事業規模拡大は難しく、貸付金3000万円の返済は困難になったのではないかと。

町の資産を善良に管理すべき町長としての対処は。

町長は、運転資金支援に際し「貸付は今後の企業誘致を進める上でも必要だ」と述べたが、新たな企業



サブロ島根の生産商品

誘致につながっているか。

山崎 町長

企業訪問で経営把握しています。議会には適宜状況報告をしており、自治区長連絡会や町長行政報告を通じても報告しているが、数字は示しておらず、厳しい経営状況です。

サブロ島根に対し8月24日、工場建設予定地の借地契約解除通知をしました。

サブロ島根は当初計画変更を検討中、その内容によって対処します。企業誘致条例は、新町になってから逐次条例化する扱いになります。

っていますが、早急に条例化します。

経営改善資金として貸し付けたが、厳しい経営状況のなか、抜本的な資金計画が策定されることになっており、町としてはそれを受け、一層の商品開発、販路拡大などの支援を行います。

誘致については企業訪問を行っているが苦戦しています。

サブロ島根への運転資金援助は、誘致企業に対する本町の姿勢として有形無形の信頼を得るものと思っております。

9月定例会 町政を問う 一般質問



Q 琴引F P 債権放棄 A よい方法があれば対処

石原 議員

私は、琴引フォレストパーク(以下琴引F P)に対し債権放棄した4億1600万円を取り戻し、これを農業振興に充て、産業を育成し、雇用の場を図っていくと公約しました。

次の5点について、町長は実態を明らかにしたうえで、取り戻すことに全力の協力は。

琴引F P へ対する資金手当は、最悪の場合、最大で2億3500万円の返済不能が考えられるとの説明だったにも係わらず、債権放棄額は4億1600万円に膨らんだが、その理由は。

想定されるとした最大返済不能額2億3500万円に、秘密裏に契約された

覚書債務1億9000万円を加えると4億2500万円となる。

債権放棄した4億1600万円に近い金額となるが因果関係は。

当初計画では、島根県から2件の資金を借り、それを琴引F P へ貸し付けることになっていた。このうち1件は、飯南町誕生後、山崎初代飯南町長の手によって銀行から借り入れた。

借入先を変更した理由と、変更した借入金で迂回融資を受けた琴引F P の資金使途について説明を求めます。

秘密裏に契約された覚書債務の存在を、飯南町長の山崎英樹として、また、琴引F P 代表取締役の山崎英樹として知った時期は。

町長は、琴引F P へ対する債権は旧頓原町から引き継いだものだ実態を故意にゆがめて債権放棄に踏み切ったと私は認識しています。

説明責任を全く果たしていないと思いますが、現在もこれから、この見解を堅持するののか。

山崎 町長

運転資金と未払金整理のために貸しつけた2億3500万円・山陰合同銀行からの借入金返済資金のために貸しつけた6000万円は、経常利益により返済されることになっていたが、返済財源が確保できませんでした。

また、政府系金融機関からの借入金返済資金のために貸しつけた2億2000万円のうち1億2100万円が経営に充てられたため返済不能となりました。

あわせて4億1600万円余の貸付金が回収不能となり、町として債権放棄を行いました。

直接的な因果関係はないと考えるが、覚書債務1億9000万円が経営に与えた影響額は約6500万円です。

平成16年度に地域再生事業債が新たに設けられたため、検討の結果、旧頓原町で変更したのですが、借入は新町になってから私の責任にておこないました。

この資金は、琴引F P が政府系金融機関から借入金の一括返済に充てられました。

平成17年9月に三井住友建設(株)の不動産部門を(株)中野坂上土地所に継承するための一連の手続きを行う時点で、町長として、また代表取締役として知りました。

琴引F P へ対する債権は、旧頓原町時代の実績と、新町になってからの運営により発生したものであり、すべて旧頓原町から引き継いだものではありません。

放棄した債権については、いろんな考えを聞かせていただき、よい方法があるというところであれば、私としても対処したいと思えます。

Q 産業振興戦略は

A 指摘を励みに実行

石原 議員

平成20・21年度に、「緊急・臨時」などとして飯南町に支給された交付金約7億7000万円の使途は、将来の布石として一点突破、産業振興に集中投資すべきだったと思うが、山崎町政は極めて総花的な予算措置を講じたと思えません。

産業振興こそ最大の福祉政策だという認識に立ち、行政一丸となって産業振興に立ち上がるべきだが、町長の認識と、具体的戦略は。

山崎 町長

現在、町産業活性化会議で産業振興についても研究いただいています。エコ米生産・園芸部門推進・施設野菜振興・少量培地耕・椎茸生産など、農林業を産業の柱とし、町を挙げて産業振興に当たり、働きの場の確保に努めます。

産業振興こそ最大の福祉政策との考えには同感であり、ご指摘を励みに進めます。



防災訓練

Q 集中豪雨への防災対策は

A 訓練によって多角的に検証



長島 正一 議員

近年、異常気象による集中豪雨で全国各地に被害が多発しています。兵庫県佐用町の被害は、避難勧告や避難のあり方等に教訓を残しており、本町でもこのような豪雨に対する対策が急がれます。

本町でも豪雨による約6億円の被害が報告されています。このことから、水害による被害の恐ろしさは、想像を超えるものがあります。この点をふまえ以下のことを質問します。

- ・豪雨対策
- ・避難勧告の基準は

- ・避難のあり方、場所は要介護者への配慮は
- ・土砂災害対策
- ・土砂災害危険箇所所周知は地域での組織づくりは

山崎 英樹 町長

避難勧告の発令は、基準を定め、確率的、機械的に発することはできませんが、その判断は非常に難しいものがあります。

また、避難誘導、避難場所については「防災計画」、要援護者への支援対策は「災害時要援護者支援指針」に基づき体制整備を図ります。土砂対策については「土砂災害警戒区域」が指定されており、昨年周知しました。また、本町における自主防災組織率は約9割にも達しています。

Q 定住対策の推進は

A 最重要施策として取り組む

長島 議員

人口減少が進行するなか、国勢調査を控え、全国の自治体が定住対策に力を入れています。

本町でも公営住宅の整備や農地バンク等の総合的な仕組みづくりを検討し、魅力あるメッセージを発信しなければなりません。

定住者にとって定住の判断材料は、魅力のある生活環境、住宅、仕事を整備することが必要であると考えますが、その実情と見通しは

山崎 町長

本町では、保育料は国の基準の75%、医療費は中学生まで助成等、多岐にわたる支援に努めているなかで、定住に関する問い合わせは昨年度92件、定住されたのは、最近4年間で13家族です。

住宅確保については、定住促進のスピードアップを



旧来島診療所医師住宅

図る観点から、公設方式も他の制度との調整を図り検討します。

また、仕事、特に農業志向者について一貫して支援できる新規就農システムの整備に向け取り組みます。

9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 国保料のあり方を検討すべき

A 国保運営協の意見を参考に



永井 章 議員

国の医療保険制度の改革で、国民健康保険制度が74歳以下の構成となり、今後国保料のあり方について検討すべきです。

国保料の徴収方法は

国保料の納期は、現在年間12期とし内3期分は（4月～6月）仮算定で徴収している。所得と資産額が6月に決まるため、前年の保険料を参考に仮徴収しているため、この際仮算定制度を廃止し納期を9期とし、7月より賦課を行うことにより月額の変動なくわかりやすい。しかし反面、月額料金がふえる事もあり、予納制度を設けては。

国保料の賦課基準を

保険料を算定するには、応益負担50%（均等割35%世帯割15%）応能負担50%（所得割40%資産割10%）の基準があります。

応能負担に資産割があるが、固定資産所有者が後期高齢者医療制度に移行すれば、残された国保加入者の負担増がなされるので、資産割を廃止しては。

山崎 英樹 町長

後期高齢者制度は、民主党のマニフェストで廃止する方向です。

今後いかなる制度になるか分かりませんが、現在の状況のもとでお答えします。

国保料の徴収方法は

年間12期納期は、一カ月当たり保険料が少なく納入しやすい。

一方、前年に比べて所得が変わった場合仮算定と本算定の金額に差異が生じるためわかりにくい面があります。

国保料の賦課基準は

国保料の資産割は世帯意識が強い農山村地域に適した方式で固定資産税の税額をもとに資産割として賦課していた。現在では世帯の状態が核家族など多様化しており、資産を持たない世帯も増加し弊害部分も増えています。

仮に資産割を廃止しても保険料の医療費分で試算すると資産割がない方でも年間保険料が増えます。

既に資産割を廃止している雲南市、奥出雲町も参考にしながら国保運営協議会の意見も聞きながら検討します。



飯南町保健福祉センター





Q 期日前投票は4箇所を実施を A 選挙管理委員会と検討

伊藤議員

衆議院総選挙には各福祉施設で期日前投票所が開設され、入所者は従来より簡便な方法で投票することができ、評価しています。

しかし、公示日の翌日から開設された期日前投票所は赤名庁舎のみで、他の地区は27日になって開設されました。公示日の翌日から4箇所で開催されるのが妥当と考えるが。

山崎町長

投票管理者、立会人、事務従事者の人員確保と選挙経費の節減などから1箇所とされています。

投票しやすい体制、環境を整えることは大切であり、選挙管理委員会の検討に心えます。

Q 障害者等の移送に支援を A 関係機関と協議する

伊藤議員

寝たきりの方が定期的に病院へ通院する場合、町内にストレッチャーを装備した介護タクシーが存在しないため、お年寄りや障害者の移動が困難であります。

介護つき移送サービスはNPO法人にも認められており、会員制で利用者が限定されることで、民間会社の営業を侵害しません。行政の支援で実現の考えは。

山崎町長

介護保険の認定者は高齢者の20%で、通院、外出介助が行われます。障害のある方

Q 老人保健施設設置は A 既存サービスの連携を含め検討

伊藤 好晴議員

寝たきりなどの要介護老人対策として、家庭ではどうしても対応できない場合に必要な医療と介護を行う施設を充実させることが必要です。

本町にはこの施設がないため、町外の施設への入所者が恒常的に3名程度あり、どうしても必要な施設と考えるが。

山崎 英樹町長

福祉に関するサービス基盤は、近隣の市町と比較しても大変恵まれた体制が整っています。介護老人保健施設、だけはあります。

既存施設や飯南病院の活用や既存のサービス基盤を生かす仕組みを作り、福祉事業所の皆さんと協議しながら、施設または機能としての老人保健施設を検討します。

9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 赤名・晴雲トンネル改良、改修は A 整備の必要性をアピール

安部 誠也議員

中国横断自動車道尾道松江線は平成20年代半ばに開通が予定されておりますが、このままでは昔から交通の要所でしたわが町は、陸の孤島になります。

町総合振興計画では「赤名トンネルの改良と晴雲トンネルの改修を要望する」とありますが、いまだに見えてきておりません。

今年度末には三刀屋のトンネルも竣工し、次はわが町のトンネルの着工かと町民は期待しています。現状と今後の見通しは。

山崎 英樹町長

これまでの国土交通省とのやりとりでは、条件とし



Q 開通後の路線バス確保は A 運行維持には利用率向上を

安部議員

尾道松江線開通後の住民の足である路線バス（都市間交通）の確保について、町総合振興計画にもなく、危機感がないと思えません。

開通後は都市間交通バスが走らなくなることが予想され、交通弱者、高齢者の方は不便になります。

将来、予想される不安材料を排除し、安心を与えるためには早急に手を打つ必要があるが。

山崎町長

バス路線の確保は重要な町民の足、町外から本町への唯一の公共機関であり非常に大切なものです。

過去に飯石郡内でのバス停の廃止をする案が提示され、本当に苦い経験がありました。運行維持には利用率を上

Q 地域活性化策での瀬戸山城整備は A 年次的に整備

安部議員

瀬戸山城（衣掛山）の整備には、昨年からの有志と町で本丸と周辺の郭の伐採、清掃作業が行われました。

尾道松江線の開通に伴い、交通量の減少が予測されるいま、地域活性化策としてこの貴重な歴史遺産、地域資源をどう再生するのか。

山崎町長

町の文化財保護審議会から貴重な歴史遺産として、町の文化財とするよう提言を受けています。

教育委員会は継承し保護、調査を行うと聞いております。町としても関係者と協議し、年次的に整備を進めます。



総務厚生常任委員会

町職員の特殊勤務手当に関する改正

飯南病院の医師不足を補うために、非常勤医師による日直や宿直業務の応援を受けています。これらの医師をサポートするために、待機命令を行ったとき、常勤医師や臨床検査技師、放射線技師の休日・夜間待機に対して待機手当を支給するものです。

出産一時金に関する経過措置

21年10月から23年3月までの間、健保や国保の出産一時金は、さらに4万円引き上げられ、42万円になります。ただし産科医療保障制度に加入している病院に限られ、それ以外の場合は、39万円となります。これについては、23年以降継続されないときは、町単独事業として継続すべきという意見がありました。



定住促進空き家住宅の設置

本町への定住を促すために、赤来、頓原の両地区に3軒づつ空き家を改修し、賃貸するものです。家賃は月額2万円の定額で、期間は10年間です。定住を促進する上で、入居者とこれを受け入れる集落との間で十分な理解と協力が必要であり、入居者には地域の活動に積極的に参加することを促し、集落には新たな担い手として積極的な受け入れを促す必要があります。



赤来地区定住促進空き家住宅

移住体験住宅の設置

移住希望者の短期田舎暮らし体験を行うため、旧国土交通省所長住宅、旧来島診療所医師住宅を改修し賃貸するものです。期間は1週間から農業研修期間の2年間までとし、家賃は月額1万5千円です。



教育経済常任委員会

特用林産物生産振興事業

飯南町が、琴引フォレストパークスキー場の駐車場に「しいたけ菌床栽培施設」を建設し、飯石森林組合が経営するというものですが、審議を通じ疑問点が続出しました。その結果、厳しい『審査意見』を付した上で、承認しました。

<審査意見>

特用林産物生産振興事業は、飯南町が事業主体となり、椎茸生産施設を建設し、飯石森林組合が運営し、生産活動を行うものである。この事業のねらいは、本町の雇用拡大を図るため施設整備を行うとされているが、その効果は現在の雇用3名の継続と2名の純増にとどまり、投資効果に対する評価に疑問をもつものである。

現行の生産体制の延長では、菌床の供給などは他町からであり、本町の林業振興への波及効果の期待が薄いといわざるを得ない。さらに、審査を通して運営の主体である飯石森林組合の考え方も十分理解できる状況に至らなかった。

そうした点から、執行にあたって町は飯石森林組合に対し、懸念払拭とともに本町にとっての投資効果が得られる方策を強く求められたい。

本町の投資金額のうち、森林組合が1,500万円負担することになっているが、極力短期間に町への納付を求められたい。

この予算の審査にあたっては付帯決議も辞さない状況下において長時間審査を行った。この意見の重みを真摯に受け止められ執行に当たられたい。飯南町議会として強く求めるものである。

割増商品券発行

「とくとく商品券」の第2弾を11月下旬発行するにあたり、高齢者や独居世帯への配慮を求めました。

- ・500円券の創設
- ・商品券販売所の増設
- ・医療機関や公的機関でも利用できるようにすること



合併浄化槽施設の整備

当初計画は15基でしたが、今回10基追加され、今年度25基の設置となります。この内2基は経年劣化によるものですが、設置後10年以上経過しているため、補助対象工事として町が改修します。ただし10年未満の改修は補助対象とならないことから、万全な施工管理をするよう執行部に求めました。

岡山県の北東端にあり、林業に夢を描き上質な田舎づくりを目指している西粟倉村を視察しました。

「約50年前に木を植えた人々の想いを大切にし、百年の森林(もり)に育て上げていく。そのためにあと50年、村ぐるみで挑戦を続けよう」と決意したと、『百年の森林構想』を道上正寿村長が熱く語っていただきました。

人口1,600人余・面積57平方キロ、ともに飯南町の約4分の1ですが、村を訪れる交流人口は実に年間30万人にも及びます。

「主体的に考える職員を育て、村の意思の明確化に努めたが、我々が仕掛けたことがようやく実りかけてきた」と村長。大変収穫の多い視察でした。



道の駅「あわくらんど」



飯南町志津見 小野田明

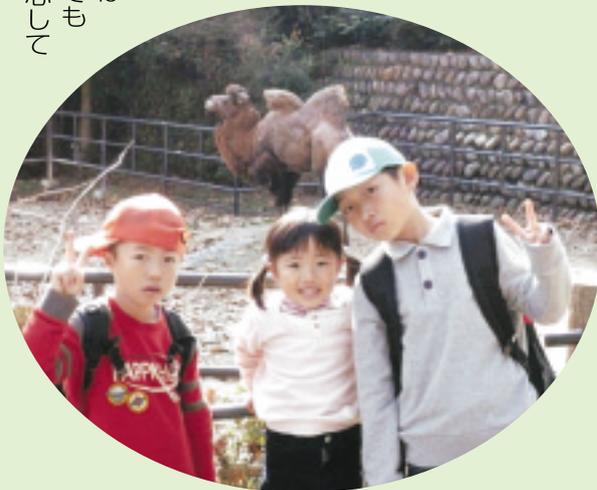
「飯南町に住んで」

うちは、家族5人と犬一匹で志津見に住んでいます。地域の人は、みんな温かくいつも助けてもらっています。僕は、親の後を継いで、三瓶のふもとで酪農をしています。妻は、東京からうちの農場に実習に来ていたときに知り合い結婚。今は志津見で働き、地域の方にとてもかわいがられています。家では、家庭菜園から子供の

ことなど、ほとんど任せっきりで、忙しい僕をしかり支えてくれてます。

子供は長男、次男は志々小学校へ、長女はさつき保育園に通っています。

どちらも、人数は少ないですが、とてもアットホームで安心して任せられます。



小野田 明 (あきら) 知子(ともこ)
太陽(たいよう) 空羽(くう) 花菜(はな)

PTA活動、保護者会活動を通じ、親同士の親睦も深まり、また、地域の人達との活動もさかんに行われ、子供、親、地域の人達それぞれを元気に、そして活力を与えてくれています。

「この町は、自然いっぱい、人がみんな優しいから、だ〜い好き」うちの長男の言葉です。

僕はせっかく、自然に恵まれたこの土地に住んでいながら、花や草の名前、野菜の作り方、山菜のこと、竹、藁細工など、知らないことばかりです。幸い、先生方が近くに

たくさんいらつしやるので、今後、教えてもらいながら、ゆくゆくは、子供らに伝えていける人になりたいです。それが、人と地域と自然を守ることに繋がっていくことだと思えます。

みんなが「この町は、自然いっぱい、人がみんな優しいから、だ〜い好き」と思える町になつほしいです。



請願

(請願者)

松江市大正町四四二一六

島根県社会保障推進協議会

会長 池淵 栄助

紹介議員 伊藤 好晴

(内容)

後期高齢者医療制度をめぐる請願(審査委員会) 総務厚生常任委員会(審査結果) 採 択

決算審査特別委員会を設置

平成二十年度飯南町各会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

- 委員長 伊藤 好晴
- 副委員長 長島 正一
- 委員 難波 俊司
- 委員 瀧尻 行雄
- 委員 門 眞一郎
- 委員 安部 誠也

那須議長が中国地区町村議会議長会会長に就任



那須 議長

飯南町議会の那須穂土輝議長が、先に開催された中国地区町村議会議長会総会で会長に選任されました。任期は、平成23年7月26日までの2年間です。

編集後記

選挙により新たに議員となつた人、充電期間を終え再び活動を開始した人、引き続き任を得た人、それぞれ町政に対し熱い思いと志を持ちここに集いました。

これからは、ひとりひとりの個性を發揮し、協力し、時に激論を戦わせながら、一心に町のことを、町民の皆さんのことを思い、全力で任にあたる覚悟です。皆様には一層のご理解ご指導をいただきますようお願い致します。議会報の編集にあたっては、よりわかりやすい、読みたくなる紙面づくりに努めてまいります。 門 眞一郎

- 議会広報編集委員会
- 委員長 門 眞一郎
 - 副委員長 石原 敏郎
 - 委員 安部 朋次
 - 委員 永井 章
 - 委員 安部 誠也
 - 委員 熊谷 兼樹

